別紙１

2018年度 事務事業評価調書（事後評価用）

北広島市

計画事業番号	00053	事務事業名	病児緊急預かり事業	担当部署	子育て支援部子ども家庭課	電話	2216

【基本情報】

事務区分	■自治事務　□法定受託事務	根拠法令等	児童福祉法第21条の9　子ども・子育て支援法第59条
事務事業開始年度	平成23年度	個別計画等	北広島市子ども・子育て支援プラン
〃　終了予定年度			

ソフト・ハード区分	ソフト事業	会計区分	一般会計	補助単独区分	補助	新規継続区分	継続

【事業概要】

1 総合計画体系		（第　1　章）　支えあい健やかに暮らせるまち
		（第　3　節）　子育て支援の充実
		（施策　1　）　子育て環境の充実
2 対　象		おおむね0歳から小学生までの子どもを育てる親等
3 目的と内容		共働き世帯やひとり親世帯の子育てを支援するため、会員登録をした利用会員の児童（0歳から小学6年生までが対象）が病気となったり、利用会員が急な出張になった場合等に、同じく登録した協力会員が有償ボランティアとして協力会員の家又は利用会員の家で児童を預かる相互援助の事業。 市は、本事業における会員間の連絡・調整等のコーディネート業務、関係機関との連携協力会員の研修等の運営業務をNPO法人に委託する。 また、ひとり親等に対する利用支援を行う。
4 実施内容（手　段）	2017年度まで	病児緊急サポートネットワークの運営による病児預かり、緊急預かり、宿泊預かりの実施。 利用件数　26件　協力会員　47名　利用会員　172名 ひとり親等への利用料助成 登録　10名　助成件数　5件
	2018年度	病児緊急サポートネットワークの運営による病児預かり、緊急預かり、宿泊預かりの実施。 ひとり親等への利用料助成 病児預かりに係る1日あたりの利用料の上限額を児童1人3千円に設定し、利用者負担の軽減を図る。

【事業の計画・実績】

2017年度		2018年度	2019年度	2020年度
計画	実績	計画	計画	計画
病児緊急預かり事業の実施	病児緊急預かり事業の実施 利用件数　26件 協力会員　47名 利用会員　172名 ひとり親等への利用料助成 登録　10名 助成件数　5件	病児緊急預かり事業の実施	病児緊急預かり事業の実施	病児緊急預かり事業の実施

【評価結果・評価コメント】

総合判定		2019年度に向けた具体的な方向性	評価区分
前年度2次評価		前年度評価対象外	「拡大」 「現状継続」 「要検討」 「見直し」 「統　合」 「休止・廃止」 「終　了」
1 次 評 価	現状継続	共働き世帯が増加する中、特に病児・病後児の預かりについてのニーズは高く、欠かせない子育て支援策の1つであることから、現状継続とする。	
2 次 評 価	現状継続	現状継続とする。	

【事業費の推移】

（単位：千円）

			2017年度		2018年度		2019年度		2020年度	
決算額、当初予算額又は推進計画額			1,916		2,219		2,068		2,068	
事業額	直接事業費	国支出金	639		739		689		689	
		道支出金	639		739		689		689	
		地方債	0		0		0		0	
		その他特財	0		0		0		0	
		一般財源	638		741		690		690	
		① 合 計	1,916		2,219		2,068		2,068	
	人件費（左側：一般、右側：再任用）	② 人 数（年間）	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00	0.30	0.00
		③ 1人当り年間平均人件費	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500	8,400	4,500
		④ ＝②×③	2,520	0	2,520	0	2,520	0	2,520	0
	総事業費①＋④		4,436		4,739		4,588		4,588	

【評価指標】

	指標名		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度
活動指標	①利用会員登録件数	目標値	件	200	200	200	200
		実績値		172			
	②協力会員登録件数	目標値	件	60	60	60	60
		実績値		47			
	③利用料助成登録件数	目標値	件	15	15	15	15
		実績値		10			
	④	目標値	件				
		実績値					
成果指標	① 利用件数	目標値	件	50	50	50	50
	【指標の定義（算式等）】	実績値		26			
	② 利用料助成件数	目標値	件	20	20	20	20
	【指標の定義（算式等）】	実績値		5			
	③	目標値					
	【指標の定義（算式等）】	実績値					

【評価項目】

チェック項目		評点	コメント
妥当性	・税金を使って行うこと（補助すること）が妥当ですか？ ・上位の施策への貢献度は大きいですか？ ・特定の団体の利益に偏っていませんか？ 【評点欄】3妥当、2どちらかというと妥当、1妥当でない 【コメント欄】理由を記入	3	特に病児・病後児の預かりについてのニーズは高く、共働き世帯やひとり親世帯の子育て支援につながるため、妥当である。
達成度	・計画どおりに成果があがっていますか？ 【評点欄】3あがっている、2どちらかといえばあがっている、1あがっていない 【コメント欄】理由を記入	3	利用会員数は増加しており、緊急時等の子育ての「サポート」体制を構築するという点で、共働き世帯やひとり親世帯の支援につながっており、成果は上がっている。
成果向上	・成果が現状よりも向上する可能性がありますか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】成果を向上させるための方策、代替策を記入	2	事業の周知・広報により、登録会員数の増加や利用件数の増加を見込むことができる。
経済性	・現在の成果を落とさずにコスト(予算・所要時間等)を削減するための方法はありませんか？ 【評点欄】3余地なし、2余地あり、1余地大きい 【コメント欄】コストを削減するための方策、補助金の減額・削減について具体的に検討し、検討内容を具体的に記入	3	病児緊急サポートネットワークの運営にあたってはNPO法人への業務委託により業務の効率化を図っている。 事業費の大部分は利用者への利用料支援と委託料であり、委託している業務内容にも削減の余地はない。

【 法律で実施が義務付けられている事務事業か 】	□ 法律の義務付けあり　■ 法律の義務付けなし

【民間活力の活用性評価】 （事業担当部局が評価）	■ 民間等での実施または市民等との協働が可能である。 □ 民間等での実施または市民等との協働の可能性はない。